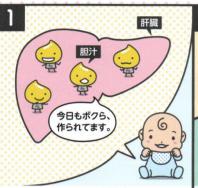
赤ちゃんのうんちの色に 注意しましょう

便色カードで胆道閉鎖症をチェック!

胆道閉鎖症ってどんな病気?



肝臓では黄色の胆汁が日々作ら れています。

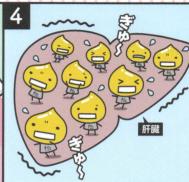


胆管が閉じて、胆汁が腸に流れ ていません。



胆汁成分が血中に出て、皮膚や 白目が黄色く見えます(黄疸)。

便色カードの使い方



肝臓はやがて肝硬変になって、 治療が難しくなります。

胆道閉鎖症の特徴と症状

- ●1万人に1人の赤ちゃんがかかる病気です。
- ②うんちの色がうすい黄色、うすいウグイス色、白っぽい色など、便色 カードの1~3番に近い色になるのが大きな特徴です。
- ❸②のほかに、皮膚や白目の黄疸があり、濃い黄色のおしっこが出て いたら、1日も早く、医師にそのことを伝えて、小児外科または小児 科を紹介してもらいましょう。
- **◆**検査は最寄りの小児科でもできますが、治療や手術は専門の医療機 関(小児外科)で行います。(県内の小児外科:新潟大学医歯学総合 病院、新潟市民病院、長岡赤十字病院、新潟県立中央病院)
- 毎早期発見と早期手術で、より良い結果が期待されています。

発見と手術が遅れると…?

肝硬変が進行して肝不全になったり、手術をしても十分な効果が得ら れなかったりします。時には頭蓋内出血を生じることもあります。

便色カードについて

母子健康手帳に綴じ込んであります。 便と便色カードを見比べましょう。

※便色カードのみでは、正常・異常の判定はできません

室内に暖色系の照明や床置きの 間接照明を使用していたり、遮光 チェックは明るい カーテンをしている場合には便の 光のもとで行い 色が正確に判断できない場合も ましょう。 ありますので注意してください。 母子健康手帳に綴 じ込んである便色 カードを便に近づ けて色を見比べま しょう。

便色がうすく、黄疸があり、濃い黄色のおしっこなら!

1日も早く医師に見てもらいましょう。その時、なるべく新 しい便を持っていってください。

<問い合わせ先>

- ●市町村母子保健担当課
- ●新潟県福祉保健部健康対策課 025(285)5511(代表)